

アレルギー性鼻炎（花粉症も含む）

アレルギー性鼻炎とは

本来は無害な物質アレルゲン（ハウスダスト・スギ・ヒノキ・ペット・カビなど）が体内に入ることにより身体が過剰症状を起こす状態。このアレルゲンによって引き起こされる鼻炎を『アレルギー鼻炎』といいます。

症状

様々な症状が現れますが、くしゃみ・鼻水・鼻詰まりの3症状が揃うとアレルギー性鼻炎の可能性が高いと考えられます。

くしゃみ

立て続けにでるくしゃみが特徴です。

鼻水

さらさらした鼻水が特徴です。

鼻づまり

風邪でもないのにつまる場合はアレルギー性鼻炎を疑いましょう。



検査

好酸球検査

鼻水を採取してその中に好酸球というアレルギー性鼻炎の人に多く見られる細胞の有無を調べる検査です。

抗原検査

採血（特異的 IgE）とスクラッチがあります。内服薬の使用状況によっては検査できない場合もあります。検査できる種類・時間・費用等それぞれ一長一短であるのでご相談ください。

治療

生活改善

室内を清潔にする カビ・ハウスダストが溜まらないようこまめに掃除をしましょう。お布団など掃除機でハウスダスト等を吸引除去するのもお勧めです。	室内の乾燥を防ぐ 鼻粘膜が乾燥して粘膜が荒れると症状が出やすくなります。	ペットを室内で飼わない ペットの毛やフケ、ダニなどが原因となることもあります。
	タバコの煙を遠ざける タバコの煙は粘膜の刺激になり、症状を悪化させます。	適度な運動をする 運動により、自律神経の働きが良くなるのでおすすめです。
鼻うがい 鼻の中の異物（ウイルス・アレルゲン・鼻水）を洗い流します。 ※当院にて専用器具の販売をしております。		
花粉症対策 マスクやメガネを利用し体内にアレルゲン物質が侵入するのを極力抑えましょう。 花粉のついた服や髪の毛をそのままにしておくと帰宅後に悪化するので払う・洗うなど対策が必要です。 シーズン中は屋外への布団や洗濯物を干さないのも対策のひとつになります。		

薬物療法

抗アレルギー剤	抗ヒスタミン	粘膜の炎症を抑えたり、抗体が作られるのを抑える。 アレグラ・アレロック・エバステル・ザイザル・タリオン セレスタミン（ステロイド配合剤）
	その他	症状が出るのを防ぐ。効果が安定するまでに1週間以上かかる場合もあります。 オノン・シングレア・キプレス・バイナス・リザベン
漢方薬		症状を抑える。 小青竜湯・越婢加朮湯
点鼻薬外用薬（鼻）		鼻粘膜の血管を収縮させ、鼻詰まりを解消させる。 トラマゾリン（ <u>長期使用注意!</u> ）
		炎症を抑える。 アラミスト・フルナーゼ・エリザス・リノコート・ナズネックス ※ここに記載のお薬はステロイド剤になります。
点眼薬		粘膜の炎症を抑えたり、抗体が作られるのを抑える。 パタノール・ザジテン・リボスチン フルメトロン（ステロイド）

※上記のほかにも様々なお薬が存在します。ご自分の体質・生活スタイルにあったお薬を見つけましょう。

舌下免疫療法…スギ（エキスタイプ）とダニ（錠剤タイプ）があります。

抗原エキスまたは錠剤を**毎日**舌の下で吸収されることで体質改善を図り、体内でアレルギー症状を引き起こさないようにする方法です。内服方法や生活スタイルについてなど注意点がいくつかあります。

根本手な治療に近いですが、治療期間が長いなどの欠点もあります。

※効果に個人差があります。

皮下注射免疫療法（減感作療法）…スギ・ハウスダストがあります。

抗原エキスを少しずつ増量しながら**定期的に**注射することにより体質改善を図り、体内でアレルギー症状を引き起こさないようにする方法です。

根本手な治療に近いですが、治療期間が長いなどの欠点もあります。

※効果に個人差があります。



手術療法

鼻粘膜を高周波で焼く（注：当院はレーザーではありません。）ことにより、鼻水や鼻詰まりをおこりにくくさせます。症状の軽減は期待できますが、根本治療ではないため数ヶ月から数年で症状が戻る場合があります。

※手術に関しては事前に検査や説明等がありますので手術の予約をとって頂いております。

また、当院では手術ができる日が限られておりますのでご了承ください。